

広報 まつのやま



牧場がゲレンデに早がわり

(大巖寺高原)

1988 **1**月号 (No.143)

1月1日現在 □総人口 4,146人(-3) □男 2,034人(±0) □女 2,112人(-3) □世帯数 1,217戸(-3)
()内は12月1日との比較

新年あけまして

おめでとうございます

企業と行政



松之山町長

村山政光

明けましておめでとうございます。雪の少ないお正月をいかがお過ごしでしたか。昨年、前年のNTTに続き国鉄・日航などの民営化が続きました。今、企業は限りなく多様化するお客様のニーズにいかに対応するかに懸命です。多品種・少生産・短期配送が最近の著しい傾向です。オレが見つけた。私だけが持っている。自分だけが知っているといった風な、一種の

ブランド志向というかオリジナリティ志向みたいな風潮が広がっています。ふる里特産品の宅配・秘湯ブーム・郷土料理・地酒が歓迎される等は、こうした傾向をよく現わしたものと云えましょう。今や流通業界、デパートやスーパーの生き残る為の大切な仕事の一つは、これらの品数が多く、量が少い品や情報をいかに紹介し、斡旋し取継ぐかにかかっています。

さて、こうしたお客様の、住民の多岐に渡るニーズをとらえる努力は企業ばかりでなく、行政もまた同様にその努力を怠ってはならないと思います。それは駄目です。それは無理です。という今までの言葉を、これからの行政マンは「出来る限りご期待に添えるよう努力します」。頑張ってみましょう。に、置き換えなければなりません。郵便局も日曜配達を始めました。農協は、暮の三十日まで歳末売り出しをやりました。役場だけが二十九日から正月三日までのんびり休んでいるのかなと思う反面、新しい年は「土曜閉庁」などという耳新しい言葉を聞きますし、先進国の中で年間二千時間以上働くのは日本人だけ、これが国際摩擦の根源だという話もあります。むづかしい世の中になって来ました。

以上、一月四日の役場職員に対する私の年頭の訓示を書き連ねまして、町民の皆々様への、私のご年始の挨拶といたします。

今年 は 「辰年」
たつとし
 辰は十二支の中で唯一の空想の動物です。でも、念のため、ある動物図鑑を見たら、辰は竜として載っていました。「大蛇に角や猛獣、猛鳥の頭を組み合わせた伝説の動物」とあります。

辰は十二支の仲間として広く知られた存在なので、架空の動物の中でも別格なのでしょう。

竜は日本では、水をつかさどる力を持っているとされ、竜神や竜王に兩ごいをする風習が各地にあります。「竜住む池は水枯れず」などといわれるのはこのためです。

また、竜は諺にもしばしば登場します。「竜吟すれば雲起る」とは、英雄の決起に多くの同志がこれに従うことの意味で、英雄を竜にたとえているのです。

さて、みなさんはこの新年をどんな決意でお迎えになりましたか。いずれにしても、「竜頭蛇尾」に終わらないようにしたいものです。



1988年

新年にあたって



松之山町議会議長

佐藤大治

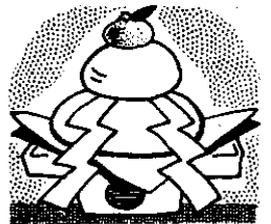
年の抱負や計画を立案中かと存じます。

町においても、本年は町制施行三十周年という事で、各種の記念行事が計画されております。大きなものは、町史編さん事業、昨年から編集執筆者を依頼し、事務局を設置して鋭意資料収集等、準備作業に取り組み努力中なので、立派な町史が完成されるものと期待されます。

昭和三十三年町制施行当時と、三十年後の今日ではその間の社会環境の激しい進歩・発展により、人間の価値観を変え、産業構造の変化は人口の都市集中をもたらし、当時の半数以下の過疎現象になつたにもかかわらず、住民の英知は道路交通網の整備を計り、冬期における無雪道路を確保し、孤立集落の解消と豪雪の克服に大きく前進してまいりました。

三十年前、今日の如く全世界に一台以上の自動車がある等、誰にも想像されなかつた現象かと、考えられます。以上のように、本当に変化の激しい時代ですが、十年前に着工された松里のダム工事も漸く今秋完成の予定であります。この間、関係組合員の皆様はもとより、町民の皆様々様にご支援をいただきました。今後とも格別のご協力をお願い申し上げます。

後十年余りで二一世紀に進むこととなりますが、これからの社会が現在以上の驚異的な速度で進歩発展するであろう科学技術情報化、国際化等の著しい世界環境の中で、吾々庶民の生活はどう変化するか予測はつきませんが、明るく平和な将来でありますよう祈念申し上げる次第でございます。



12月

定例議会

第五回一般会計補正予算

三、三一八万九千円追加し、二七億九、六六二万四千円に

松之山町議会十二月定例会が、二十三・二十四日の二日間開催されました。

この議会では、町長はじめ町三役・議員など特別職の職員及び、町一般職員の報酬引き上げなど二十件の議案が上程され、審議されました。予算関係では、今回で第五

回目にあたる一般会計補正予算が提出され、全体で三、三一八万九千円追加されて、六十二年度予算総額が二七億九

六六二万四千円となりました。今回補正の主なものは、特別職の昭和六十三年一月からの報酬(平均一・四七%)引き上げに関するもの。また、

町職員の給与が四月にさかのぼって一・四七%引き上げられ、その差額分が、上川手歌

舞伎愛好会に宝くじ還元金の二〇〇万円が補助され、かつらや舞台衣裳が整備されることになりました。また、社会福祉協議会に豪雪基金として三〇〇万円が、山村留学助成

金に三〇〇万円。六十三年三月いっぱい閉校する三省小学校の屋体、プール分の町債を繰上げ償還するために、三、五四二万円が補正されました。このほか、国民健康保険など四つの特別会計でも、それぞれ補正が行われました。

議会の一般質問には四人の議員が、老人アパート・診療所の統廃合・農業問題などについて、町長の考え方をたずねました。



12月定例議会 机の並び方も変更し、一段と議会らしく

一般会計補正予算 主な使いみち

(第5回補正)

▷ 総務費	
・ 町勢要覧印刷費	50万円
・ ファクシミリ1台	37万円
・ 上川手歌舞伎補助金(宝くじ還元金)	200万円
▷ 民生費	
・ 町社会福祉協議会補助金(豪雪基金)	300万円
・ 繰出金 老人保健特別会計へ	250万円
・ " 簡易水道特別会計へ	610万円
▷ 農林水産業費	
・ 団体営地すべり関連圃場整備(持田地区)	122万円
▷ 商工費	
・ スキー場パトロール用パーソナル無線機	25万円
・ スキー場地質調査費	75万円
▷ 土木費	
・ 道路工事費(特四)	
松代松之山線・東川藤倉天水越線	523万円
▷ 教育費	
・ 山村留学助成金	300万円
・ 浦田地区イベント用雪像骨組工事費	70万円
・ 雪囲用アルミシート代	50万円
・ クロスカントリースキー用コースカッター	30万円
▷ 公債費	
・ 町債繰上償還(三省屋体・プール分)	3,542万円

審議可決した主な事項

▽国民健康保険特別会計補正

予算(第三回)診療所勘定

○一、五三五万八千円追加し

て総額二億三、九七九万三
千円とする。

▽老人保健特別会計補正予算
(第二回)

○五、〇〇〇万円追加して総
額二億九、〇四三万円とす

▽簡易水道事業特別会計補正
予算(第三回)

○六一〇万円追加して総額六、
七〇六万三千円とする。

▽農業共済事業補正予算(第
一回)

○一〇〇万円補正して総額五、
一一九万八千円とする。

特別職の報酬 六十三年一月から 引き上げ 町長五二万八千円に!

○町長 五二八、〇〇〇円

(一万二千円引き上げ)

○助役 四二〇、〇〇〇円

(一万円引き上げ)

○教育長 三七〇、〇〇〇円

(七千円引き上げ)

▽非常勤特別職(議員)

○議長 一六八、〇〇〇円

(三千円引き上げ)

○副議長 一三一、〇〇〇円

(三千円引き上げ)

○委員長 一一〇、〇〇〇円

(二千円引き上げ)

○議員 一一六、〇〇〇円

(二千円引き上げ)

▽冬期集落保安委員も月額三
千円引き上げられ、一二九、

〇〇〇円となりました。

職員給与平均一・四七%アップ

高卒初任給九万九千五百円に

▽町職員の給与に関する条例
の一部改正

○四月にさかのぼり平均一・
四七%引き上げられました。

その他の条例で

主なもの

▽松之山町手数料条例の一部
改正

▽松之山町税条例の一部改正

▽松之山町国民健康保健税条
例の一部改正

▽兔口露天風呂の設置及び管
理に関する条例の一部改正

○六十三年四月からの開業に
あたり町民に無料入浴券が
配られる。

▽町営スキー場条例の一部改
正。

○リフト営業時間を三〇分延
長し、午後五時までとする。

▽字名の変更について

○土地改良事業により天水越
シンノクの一部地番が、湯
本字小屋平と変更される。

▽工事請負契約の変更につい
て

○東川藤倉天水越線道路改良
工事の変更が生じ、三六六
万四千円追加された。

※請願・陳情・一般質問につ
いては、一月末発行予定の
議会だよりの中で詳しく紹
介します。

昭和63年 減反面積決まる

松之山町

121.1

ヘクタール!

県農林水産部は十二月二十
六日に、昭和六十三年水田
農業確立対策の転作目標面積
及び、産米事前売り渡し申込
限度数量の市町村配分を発表
しました。

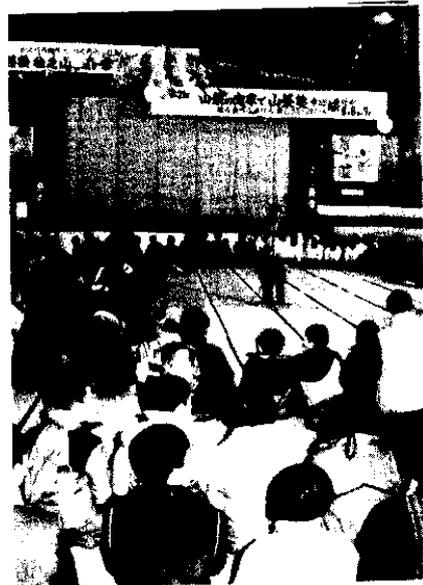
二年目を迎える水田農業確
立対策の転作面積は、県全体
で本年度と同じ二九・九九〇
ヘクタールとなっており、松
之山町への配分は、一一一・
一ヘクタールと昨年より〇・
五ヘクタールばかり増えてい
ます。

また、米の事前売り渡し申
込み限度数量も松之山は、二
〇三四トンとなっており前年
度より一三五トンばかり少な
くなっています。

この水田農業確立対策のほ
かに、新年度から「米需給均
衡化緊急対策」という制度も
スタートする事が決まっており、
米作農家にとっては米価の値
下りとともに、非常に厳しい
状況を迎える事となります。



メイン会場を変えて行われたスキーカーニバル



1月浦田の若者が「豪雷塾」を始める。

松之山小学校 黒倉分校閉校

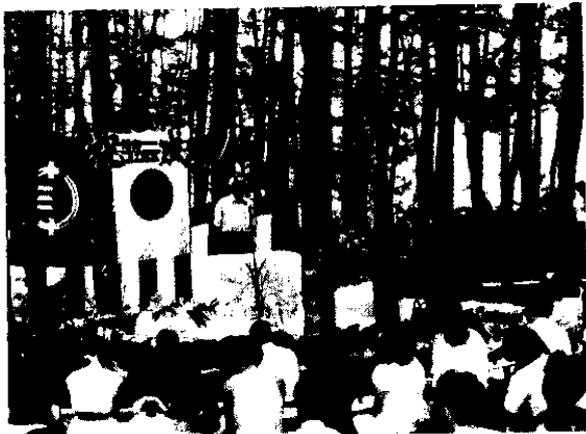
返って
87



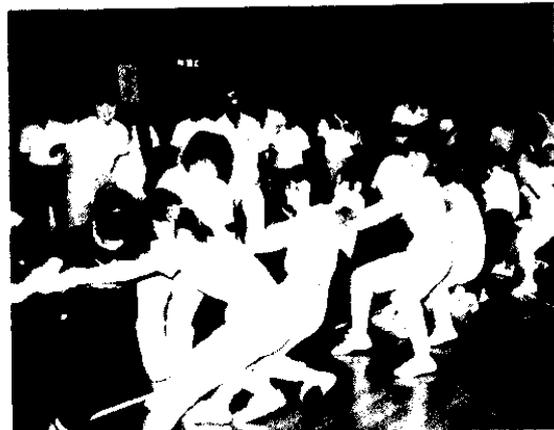
63年4月からの統合にむけて黒倉分校で閉校式が。秋には三省小学校でも閉校式が行われた。



4月に大蔵寺高原で初のクロスカントリースキー大会が開催された。



8月14日 松口「美人林」に雪を運んで成人式 / このユニークな企画が全国の話に?



つな引きもすごいブームに。この大会には40チームも参加して熱戦が展開されました。



村山町長四期目の当選
8月29日 町会議員選挙
16名の議員誕生



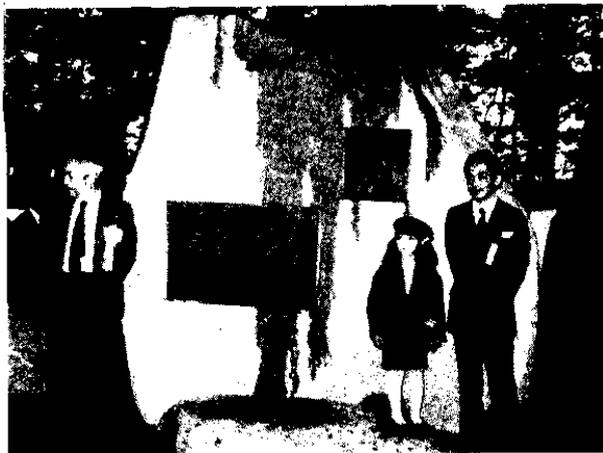
真夏に雪？ 8月15日大巖寺高原において
「第1回真夏の雪まつり」開催。足が冷たいよ〜！



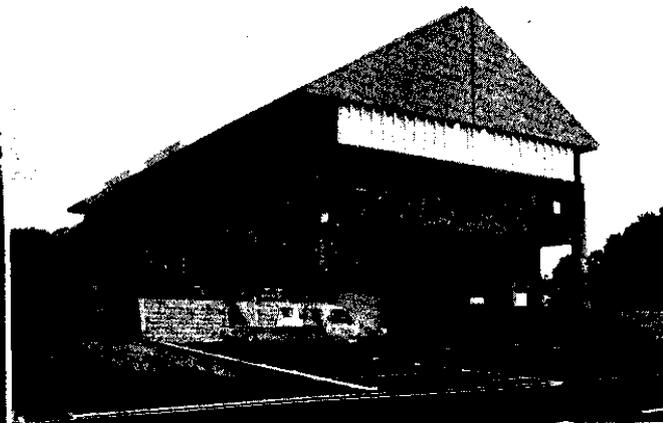
兔口に待望の露天風呂が完成。観光のはずみに。



8月1日 松之山町農協が一本化、新たなスタート



松之山小学校の前に坂口安吾の文学碑が出来ました。



11月7日 総額5億5千万円をかけた松之山
小学校が竣工。多目的スペースを備えたすば
らしい校舎です。

「5人が力を合わせて」

浦田山村留学生の生活

浦田地区の皆さんが取り組んでいる「山村留学」。実際生徒が来るようになってから一年が過ぎようとしています。

現在、中学生三人と高校生二人の合計五人が東京や愛知などから留学生として浦田に来て、地元の学校で勉強しています。

中立山集落センターを改造して作った「山留センター」を活動の中心に、民泊先の家の手伝いや、地区の活動に参加して地元の子供たちと同じように、自然の中で伸び伸び頑張っています。

このほどセンターで、五人の生徒が中心になって「収穫祭」が行われ、その際、生徒一人一人が松之山での生活や感じた事を作文にして発表してくれました。広報では、この皆さんの作文を二回にわたって紹介することにしました。

山留の皆さんから見た松之山はどんな感じかな？

体験発表

中学二年 小 熊 大

浦田へ来てからの体験といえば、野菜をまいたり、日本海へキャンプに行ったりしたことだ。でも、センター活動以外にも体験は色々ある。学校からセンターまでの道が長くて、しかも坂だからつらいとか、わざわざ、電車に乗って川まで魚をつりに行かなくてもいい。やはり一番印象に残ったのは、日本海に行つたときに、みんなリールざおで海用の道具をそろえていたのに、ボクたちは川用の道具

でちゃんとフグを釣ったということだ。あと、部活の帰りはもうまくらで、星が出ているということだ。そして、星の数、見易さなど、東京とはえらい違いであった。さらに、天ノ川がはっきり見えるので、うれしそうか、きれいというか、とてもいい気持ちになる、まだある。学校に行く時に晴れていて青空の時に、遠くの山が見えたときだ。朝っ

気持ちはなる。そして、空気はおいしいし、水もおいしい。だけど、冬には大量の雪が降る。だけど、スキーも体験できる。そしてあと四ヶ月ぐらいで三年生だ。実際一年とは早いものだ。ボクは、三年生にはなりたくない。ずっと中学二年生でいたい。でも、そういうわけにはいかない。だから今の時間を大切にしたい。

自然ってすごいなあ

中学一年 浅 倉 友 貴

私がここに来て半年以上が過ぎました。私はここで色々なものを見ました。たくさんの事を身体全体で知りました。紅葉もそのひとつです。私は十月、山ぶどうをとり先生達と車で長野県の野々海に行きました。そこで見たものは秋。色あざやかな秋。「頭がいたしなるぐらいきれ

色がならば。かれた木も、そして紅葉していない若木も、それぞれの役目をはたし、山を色どっていた。「きれい」でも「美しい」でもない。言

し、秋が来ても別に何も変わった事なんてない。せめて焼きいも屋が通るくらい。だから、ここに来て季節の変わるのを見て、それぞれの季節をよく見ていたら、本当に自然で人間が幸せになるのには決して欠かせないものであって、この前だれかが言っていたが、自然の無い都会というものは人間の住む所などではない。つくづくこの事について考えさせられたこの事だけでも、私が山村留学に来た価値は有ると思う。

新潟県史

刊行のご案内

予約募集中

新潟県が立県百年の記念事業として、編さんを進めている「新潟県史」は、昨年度に続いて、昭和六十三年三月に五巻が刊行されます。

本年度刊行予定の通史編五巻は、既巻の通史編四巻と同様、図版・写真を豊富に取りそろえた親しみやすい県史です。原始古代から昭和五十一年までを記述の対象とする通史編全九巻は、これで完結することになります。この機会に多くの方の購読をお勧めします。

▽昭和六十二年度刊行巻の頒布価格。

- 通史編四 近世二
- 〃 五 近世三
- 〃 七 近代二
- 〃 八 近代三

〃 九 現代

価格はいずれも、三、七〇〇円です。(分売可・送料別)

なお、既刊の二十九巻とも在庫がありますので、ご注文ください。

▽申込み先
千九五〇 新潟市新光町四番地一

新潟県総務部県史編さん室
☎〇二五―二八五―五五―

一(内)二一〇―

▽申込み方法
官製ハガキに住所・氏名・

購入巻名・冊数・公私用別・電話番号などを記入して、お申し込みください。また、各巻の概要を記したパンフレットを用意しましたので、ご希望の方は請求ください。

勤労者のみなさんへ

新潟労信協(財団法人 新潟労働者信用基金協会)の保証により、労働金庫から融資が受けられます。

- ・ 勤労者の方
- ・ 自営業者の方(従業員5人以下)

<融資の種類> 融資の種類は次の通りです。

* 無担保

種類	用途	融資額	期間	金利
暮しのローン	住宅・物資購入・教育・冠婚葬祭・レジャー資金等	100万円以内	5年以内	年 9.80%
教育ローン	教育資金	200万円以内	10年以内	年 8.00%
災害ローン	災害資金	100万円以内	10年以内	年 6.80%
県・市町村提携ローン	県・市・町・村との協定による。			

* 不動産担保

住宅ローン	新築・増改築・土地・家屋購入	3,000万円以内	30年以内	年6.35% ～6.75%
暮しのローン	住宅・物資購入・教育・冠婚葬祭・レジャー資金等	1,000万円以内	30年以内	年7.35% ～7.75%
災害ローン	災害資金	3,000万円以内	30年以内	年6.10% ～6.50%
県・市町村提携ローン	県・市・町・村との協定による			

○ご融資には全て財団法人新潟県労働者信用基金協会の保証をつけさせていただきます。

(保証料) 融資格の 0.6% (無担保) ・ 0.16% (不動産担保)

○詳しくは、下記にお問合わせ下さい。

▷労働金庫直江津支店

(電話) 0255-43-4584

▷(財)新潟県労働者信用基金協会

(電話) 025-223-1386

くらしのアイデア

手軽にできる 冷蔵庫の 健康診断

冷蔵庫のドアのパッキングが傷ついたり古くなっていくと、ドアに隙間ができて冷却能力が弱まります。はがき一枚を間にはさんでみて落ちる時はパッキングが古くなっている証拠。パッキングの取り替えは、電気店にお願いした方が良いでしょう。

古いタイプの冷蔵庫でパッキングに異常のないのに冷却能力が弱まっている場合は、背面の放熱器が壁に近づきすぎているのかも知れません。壁から十センチぐらい冷蔵庫を離してみます。放熱器がホコリをかぶっていたり、傍に電気コンロなどの熱源がないかどうか調べましょう。

12月12日
スキー

「三人だつてガンバルぞ。東川小上鰈池冬季分校」



分校でガンバル和志君、ゆかりさん、良康君
(左から)

町内で唯一の冬季分校「東川小学校上鰈池分校」が、十一月一日より開校されました。冬季分校が開校される学校は、上越地区で二十カ所あるそう、そのうち、東頸地区では松代に二校と、松之山で一校の合せて三校ということ

です。今年この分校で勉強する児童は、一年生の小野塚和志君と二年生の小野塚良康君、ゆかりさんの三人です。そして先生は、上越から来ていた大竹裕範先生という若くて元気のよい先生です。一日の開校式では、児童一人一人が冬季分校での目標を発表しあい、「三人で力を合わせて勉強やスキーに頑張つて、本校の子供たちに負けないようにします。」と、先生や父兄の方に約束していました。

2 安心して滑られるスキー場に

松之山温泉スキー場では十一月十二日に、シーズン中の無事とスキーヤーの増加を願つて「安全祈願祭」を行いました。

今年で五年目のシーズンを迎える町営スキー場。毎年少しづつですがスキー客も増え、温泉だけでなく、スキー場としても名前が売れるようになって来ました。

オープンを翌日に控えたこの安全祈願祭には、町長はじめ多くのスキー場関係者が出席し、スキー場の発展を祈りました。しかし、十一月は去年に引き続き雪が少なく、関係者をやきもきさせています。



若い大竹先生に励まされて



神主からリフトのおはらいを受ける





“手打ちそば、や”あんころもち、がおいしい



住民課長から慰問品をもらい喜ぶ入所者の皆さん

3 大変喜ばれている歳末慰問

町内の皆さんから多くの善意をいただき実施している、恵まれない福祉施設や老人ホームに入所している方たちへの歳末慰問。今年も沢山のモ子米やタオル・慰問金が寄せられ、十三の施設や保育所、診療所、ねたきり老人などにプレゼントされました。

今回プレゼントされた内訳は、モ子米三三〇キロ・タオル九五一本・慰問金二二万二

千円・シメナフ二七本となっており、これらの品々は十一月八日に婦人会・老人会・民生委員の代表の方々によって各施設に届けられました。

プレゼントされた各施設では、松之山出身の入所者をはじめ、みなさんが感謝し喜んでいるとの事です。

町内の皆さん、多くの善意ありがとうございました。



町民の善意で集められたモ子米、タオル、しめ飾りがこんなに沢山！

4 自分たちで作った“そば”はつまい！三省小学校で

収穫祭

今年度で閉校する三省小学校（金子通次校長）では、十二月二十日に最後の収穫祭を行いました。

収穫祭では、親子菜園で今年はじめで作った“そば”をメインに、あんこもちや雑煮、タイコンの漬け物やおろしが用意され、地区の米賣やPTAの皆さん、教育長も出席してにぎやかな懇談会となりました。

でも、収穫祭の準備が大変。

PTAの皆さんは前日から手打ちそば作りの先生を呼んで来ての“そば作り”。もちつき用の米の準備にと大忙がしだしたようです。でも、そのおかげで味の方は天下一品。そばもちも、おかわりする人が続出していました。

児童にとっては三省校で学ぶのも三学期を残すだけとなりました。楽しい思い出を沢山作ってほしいと思います。



1年生から6年までみんなで作りました

賢い消費者情報

特殊販売の種類

◎ネガティブアクション
 注文しないのに品物が送られてくる事があります。三ヶ月手をつけずに保管すれば、その後は処分できます。内容証明の手紙で引き取り請求をした場合は、一ヶ月で処分できます。
 (期間を過ぎないで使用する
 と購入したとみなされ、代金を支払わなければなりません。
 注意してください。)



◎リッカーミシンの債権とりたてについて
 以前倒産したリッカーミシンの再建に伴う未支払分の請求が手紙で来ているようです。もう、五・六年も前のことなので領収証もないけど確かに支払ってあるという方は、何年くらい前に、誰に支払ったかわかれば、リッカーの再建管理部へ連絡できますのでご相談下さい。

◎かたり商法

消防署や郵便局などの名を使い、消火器や表札、郵便箱を売る方法です。消防署の職員等が訪問して販売する事はありません。少しでも変だと思ったら、駐在所・役場へ問い合わせてください。



保育所入所申し込み

1月25日までに



早くお友達になりたいなあ～

▼入所基準
 保育所では、昭和六十三年度の入所申し込みを受付中です。三歳児以上は案内書をさしあげますが、未満児の方には案内は出しませんので、入所希望の方は、一月二十五日までに各保育所または、役場福祉係へ申し込みください。入所決定通知は、三月初旬までに各家庭へ送付します。

▼定員
 ○松之山保育所 四十五人
 ○松里保育所 四十五人
 ○布川保育所 三十人
 ○浦田保育所 三十五人

○保護者が労働に従事し、幼児の保育に欠ける場合。
 ○保護者が疾病等のため乳幼児の保育に欠ける場合。
 ○その他、町長が必要と認める場合。

▼保育料
 国の基準にもとづいた町の基準額表による。世帯の扶養義務者全員(父母・祖父等)の課税額により算定します。

※入所申し込みについて不明な点がありましたら、役場福祉係へお問い合わせください。

松之山保育所

サンタクロースちゃん
 あそびたい
 あそびたい

松之山保育園に姿なきサンタクロースがやって来て、園児たちにプレゼントを贈ってゆきました。
 この姿なきサンタさんのプレゼントに園児たちは大喜び。親切なサンタさんに感謝しています。ありがとうございました。

第7回ピンポン大会

今年で第7回目を迎えた松之山町ピンポン大会が、十二月十三日に町民体育館で開催され、小学生から一般まで五十名程が参加して熱戦を繰りひろげました。

今回の大会は、開催期日が遅くなったのとスキー場のオープン日が重なったため、参加人数が当初予定した人数より少なく、ちよつと残念でしたが、最年長の下蝦池、大見勝平さん(七四歳)も小学生の部に出場してくれるなど、有意義な大会となりました。リーグ戦形式で試合を進めた



小学生の部で入賞した子供たち
左から2位佐藤一彦君、1位の
本山勉君、3位本山達夫君。

ため、一人が何試合も出来て選手の皆さんは大変喜んでいました。

各ブロックの入賞者は、次のとおりです。

- ▽小学生の部
 - 一位 本山 勉
 - 二位 佐藤 一彦
 - 三位 本山 達夫
- ▽中学生の部(男子)
 - 一位 竹内 正智
 - 二位 佐藤 公雄
 - 三位 村山 芳徳
- (女子)
 - 一位 重野せい子
 - 二位 志賀 里美

- ▽一般の部 (男子)
 - 一位 白井 博栄
 - 二位 間嶋 正
 - 三位 佐藤 至
- (女子)
 - 一位 滝沢美也子
 - 二位 小野塚美津枝

共同募金

ありがとう

今年も共同募金・歳末たすけあい運動に町中の方からご協力いただき、沢山の募金やモチ米、タオルなどが寄せられました。本当にありがとうございます。町社会福祉協議会では、これらを恵まれない方たちのために有効に活用させていただきます。

- ▽募金等の内訳
 - 戸別募金(一、一五八戸) 七四一、七五〇円
 - 学校募金(十三件) 五六、三五四円
 - 職域募金(九件) 五二、八一九円
 - その他個人二名から 一五、〇〇〇円

所得税の確定申告は

正しくお早めに

所得税の確定申告は、二月十六日から始まります。申告と納税の期限は三月十五日ですが、期限間近になりますと

ない方が申告をしなかったり、誤った申告をしたりすると、後で延滞税を納めなければならないなどします。

税務署等の相談会場は大変混雑し、落ち着いて相談できなかったり、長時間お待ちいただくようになりかねませんので、確定申告はできるだけ早めにお済ませください。

〈申告書を自分で書くときは〉申告書を書くときには、「所得税の確定申告の手引き」や「申告書の書きかた」を参考にしてください。「申告書の書きかた」に示されている番号順に記入していくと、所得や税額の計算が簡単にできるようになっています。

所得税は、自分の所得の状況を最もよく知っている皆さんが、自分の所得と税額を正しく計算して申告し、納税するという申告納税制度を採用しています。

確定申告をしなればならない方が申告をしなかったり、誤った申告をしたりすると、後で延滞税を納めなければならないなどします。

歳末たすけあい運動結果

- ◎歳末たすけあい募金(赤い羽根募金) 二〇万円
- ◎婦人会より 三三〇キロ
- ◎老人クラブ 二四ケ
- ・もち米
- ・タオル 九五一本
- ・しめかざり 二四ケ

町史編さん
だよりNo. 7

太子講

(その2)

大正十三年、北浦田の職工
会長(のち浦田支部長)に推
された田中鶴吉は、以後克明
に議事を記録し続けた。この
表はその記録に基づいて作成
したものである。

大正十五年十二月二十五日
天皇崩御、年号は昭和と改め
られたが、大正末期からの不
景気はさらに拡大して大恐慌
の幕明けとなった。

職工賃金も例外ではなく、
不況のあおりを受けてはげし
く下がり続けた。しかも昭和
五年には二度にわたる臨時総
会を開いて賃金を下げるなど、
かつてない事態をむかえてい
る。

昭和五年は豊作に恵まれた
が米価は下がる一方で豊作飢
きんといわれ、翌六年は東北
北海道が凶作に襲われ、娘の
身売りが聞かれたのもこのこ
ろであった。

こうした世相を反映して台
頭してきたのが軍部であった。
昭和六年の満州事変について
翌七年の上海事変へと発展、
この年の職工会役員会の記録
には

一、満州および上海事変につ
き、出征兵士に若干の慰問
金を各会員より寄付をなし、
会長まで届出の件。
一、五月以降米価一俵八円を
越える時は臨時会を開き、
賃金改正をなす件。

とあって、ここにも戦時色
がみられるようになった。

昭和十二年には日中戦争へ
と突入、いよいよ泥沼にのめ
り込んでいく。この年九月四
日、浦田村職工組合は臨時役
員会を開き、出征する組員の
餞別を協議して一名に金一
円を贈ることとし、組員か
ら五銭〜二十銭を集めている。
その後戦火の拡大にともな

昭和初期の職人日当と物価の推移 (単位：銭)

年 度	1 期 (3月~11月)		2 期 (12月~2月)		酒 (1升)	豆腐 (1丁)	醤油 (1升)	浦田地区 職工会員数
	先飯	手飯	先飯	手飯				
大正 13年	1,40	1,90	—	—	80	12	—	101人
14年	—	—	—	—	90	14	—	102
15年	—	—	—	—	75	13	70	98
昭和 2年	1,35	1,80	1,15	1,60	80	11	60	95
3年	1,20	1,60	1,00	1,40	80	—	—	99
4年	—	—	—	—	75	10	—	98
5年	—	—	—	—	80	8	—	100
8月18日	1,10	1,50	90	1,30	—	—	—	—
11月5日	90	1,20	70	1,00	—	—	—	—
6年	—	—	—	95	65	6	50	105
7年	—	—	—	—	60	6	—	—
8年	—	—	—	—	69	10	—	—
9年	—	—	—	—	65	8	—	—
10年	—	—	—	—	68	11	—	94
11年	95	1,35	75	1,05	70	11	—	—
12年	1,05	1,50	85	1,20	70	12	—	95
13年	1,15	1,65	95	1,35	90	12	—	86
14年	1,35	1,90	1,00	1,50	1,40	14	—	70
15年	1,60	2,30	—	—	1,50	20	50	75
16年	1,80	2,50	1,20	1,90	1,75	—	—	76
17年	—	—	—	—	2,19	—	60	76
18年	2,50	3,00	—	—	—	23	—	89
19年	—	—	—	—	3,50	25	—	88
20年	—	—	—	—	7,50	—	—	83

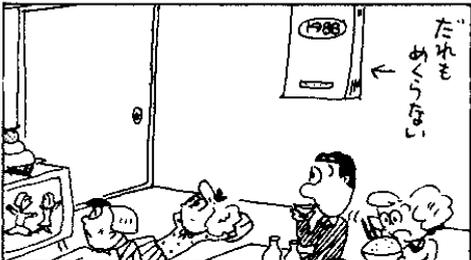
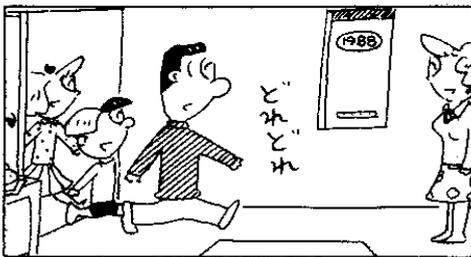
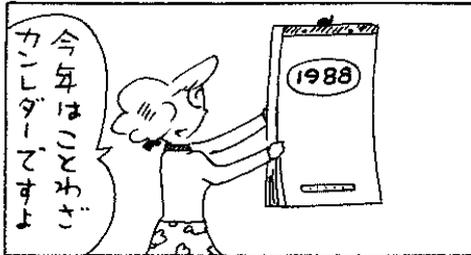
って物資が不足しはじめ、大
工には欠かせない金釘が不足
して早くも十四年から配給制
となり、八月二十七日に第一
回の配給が行われた。一人に
つき百三十匁、代金は二十三
銭であった。

戦場へ、工場へと駆り立てら
れた。田中鶴吉の身辺も多忙
を極めたのだろうか、十九・
二十年の賃金は記録していな
い。物価統制令のもとでは、
職工組合も為す術を失ったの
だろうか。



さわやか君

西村 宗



戸籍の窓

おくやみ (死亡)

志賀 ミキさん
92歳(松 口) 嘉助
※12月1日から25日までの届出分
です。

「国の進学ローン」

取扱中!

国民金融公庫高田支店では現在、「進学資金貸付」の取扱いを行っています。

対象者は来春、高校・短大・大学を始め各種専修学校への進学(予定)者を持つご父兄となっており、資金の用途は入学金ほか進学に伴う諸費用すべてが対象となります。

- 融資額 1進学者あたり50万円以内。
- 貸付期間 高校専門学校3年以内、大学4年以内。
- 保証人 1名以上(保証基金を利用すれば保証人不要)
- 返済方法 毎月元利均等返済
- 取扱期間 11月から昭和63年4月末まで。

詳しくは、国民金融公庫高田支店(電話24-2340)及び最寄りの商工会、または各金融機関へ。

落ち着いて 正確に話そう 110番



ご存じですか。1月10日は「110番の日」です。事件、事故などを見かけたら、落ち着いて正確に110番通報をしましょう。

—110番のかけ方—

- 110番以外の警察電話**
- 暴力通報用 (025)283-2424
 - シルバーテレホン (025)283-4165
 - ヤングテレホン (025)283-4970
 - 覚せい剤通報用 (025)283-4279
 - 極左通報用 (025)284-9393
- ①何が…(交通事故、泥棒など)
 - ②いつ…(何時何分)
 - ③どこで…(部落名、道順、目安になるもの)
 - ④犯人は…(人相、車のナンバーなど)
 - ⑤あなたは…(住所、氏名、事件との関係)
- 以上のことを落ち着いて話しましょう。

安塚警察署



つばたりえさん
(うさぎ)

わたしがおどっているところ



ウルトラマンとかいじゅう



ほいくえんでとれたでっかいも



たなべはるやくん
(りす)

おのづかみきさん
(うさぎ)

係官が電話に出ると、「火事ですか?」「救急ですか?」と問いかけ、あと順々に住所や目標などをたずねます。それに応じて一つ一つ答えて下さい。その時間はわずかでず「あわてず」「急がず」「正確に」

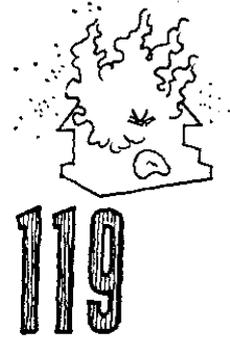
火災・救急・その他の災害の発生を知らせる一一九番は、緊急を要する重要な番号であり、通報の遅延から尊い生命、大切な財産を失うことのないよう安全な社会生活を送るため、家庭に職場に広報することを目的として、上越地域消防事務組合では昭和六十二年一月一日に「一一九番の日」を制定しました。

一一九番は落ちついて、正確に行つて下さい

1月19日は
11月9日は

「119番の日」

- ▼十二月のできごと
- 1日 上蝦池冬季分校開校式
 - 2日 議会産経委員会
 - 9日 公共施設除雪打合せ会
 - 12日 スキー場安全祈願祭
 - 13日 スキー場オープン
 - 町ピンポン大会
 - 15日 議会総務民生委員会
 - 18日 民生委員会
 - 21日 老人クラブ会長会議
 - 23日 12月議会定例会
(24日まで)
 - 25日 農業委員会総会
 - 31日 浦田越年レディー祭
 - ▼一月の予定
 - 15日 小正月すみぬり・婿投げ(湯本)
 - 17日 浦田豪雪祭(18日まで)
 - 18日 県中学アルペンスキー大会(20日まで)



編集後記

皆様、新年あけましておめでとうございます。

たしか昭和五十五年以来の雪の少ない正月だったと思います。出稼ぎから一時帰省された方々も、ゆつくりと骨休みてきた事ではないでしょうか。新年のあいさつも「おめでとうございます。今年は少雪で、ばかいい年だのお」と、会う人ごとに言いあいますが、スキー場関係者にとっては何とも複雑な心境かと思われま

す。

今年は辰年、辰は水の神でもあるそうです。大巖寺の留山ダムも今年は完成し、本格的な可動が始まります。転作、米価引き下げ等、私達農家にとっては、またひとつ厳しさの増した年明けとなりましたが、暗い面の多い中でダムの完成は明るい話題かと思えます。

今年はまだ、町制施行三十周年の年でもあります。これを契機に、町が一段と飛躍することを祈ります。広報係三年目、よろしく申し上げます。

広報まつのやま 88年1月号 □毎月10日発行
□発行/松之山町(6)3131 □編集/議会議事事務局